

## 理事長所信及び基本方針

第 66 代理事長 岩下 佑也

### 【所信】

#### “自立と共生”

アフターコロナの世界を私たちは今、生きております。私たちは、未曾有の危機に直面し今日まで対応してまいりました。新型コロナウイルスによる被害やワクチン接種、AIの発達によるDXの推進や戦争問題、LGBT等、日々様々な進化や政策による変化が起こっております。起こっている物事の表と裏を観察し、判断し、実行していく力が求められているのではないのでしょうか。また、私たちは戦後教育や政策の今を生きている中で、この国、この地域に生きる一人一人が輝ける未来を考え直す時期に来ているのではと感じております。誰かの判断に委ねることなく決断できる力や内と外の情報を見極め、判断できる力を兼ね備えるとともに経済的にも精神的にも“自立”した青年を多くつくるのがこの地域の持続発展に必要なだと考えます。

国内からの目線で見てみると、失われた30年と言われた現状は決して成長とは言えず、GDPの低下、増税、人口減少等々、景気悪化の一途を辿っているように感じます。反対に世界からの目線で見てみると、この日本は物価の安い国となり外資系企業の参入や外国人旅行者の数も増加してくることが予測されます。ポジティブな面やネガティブな面のどちらもあるかと思えます。

戦後の今を生き続けている私たちは今後、目の前に訪れる物事や今起こっている物事をしっかりと見極め、判断し、実行することでこの先の未来を築いていかなければなりません。1959年に生まれた上田青年会議所の原点を理解し、今の現代に“カタチ”として体現することで持続可能な地域の創造に寄与してまいりたいと考えます。

私たちは、認承60周年に掲げたNEW VISION「生きろ。」のもと活動を行ってまいりました。目まぐるしく変化していく時代の中で、私たちも常に対応し変化していかなければなりません。真の部分を大切に、地域にインパクトのある“カタチ”として発信し続けてまいります。また、さらにこの先の未来を見据えた中期計画を現在の状況から検討し活動を展開してまいります。

今後も私たちは、どんな時代であっても対応できる人財であり地域にインパクトを生み、牽引していく青年団体として邁進してまいります。

## 「官民連携した地域未来をデザイン」

### 地域デザイン推進委員会

海外からの渡航制限も緩和され、観光業をはじめとした産業の復興や貿易輸出による発展の兆しが見え始めております。今後、人口減少が進んでいく中でこの地域が持続していくためには定住人口や交流人口はもとより関係人口を増やしていくための施策を継続していくことが必要だと考えます。

2021年には、新型コロナウイルスの感染が拡大したことで、人口が集中する都市部である東京都では1997年以降初めて転出超過を記録しました。今、地方が注目されています。この地域にしかない自然や様々な魅力を情緒的価値として訴求することは、各種人口の一時的な獲得ではなく、ファンづくり。すなわち、関係人口の増加につながると考えます。様々な地域資源を活かした戦略性のある施策を地方自治体の方々におんぶにだっこではなく、我々市民一人一人が共に感じ、考え、それぞれができることを実行していく意識が必要だと考えます。まずは官民一体となる方法を模索し、中期計画として認承65周年に向けた未来をデザインしてまいります。

認承60周年に掲げたNEW VISION「生きる。」を時代のニーズとかけ合わせ、地域に運動として働きかけることで訴え、まちづくりに対する意識をより多くの方々へ波及していく風土を浸透できるよう尽力してまいります。

## 「子育て親育ち」

### 青少年未来開発委員会

私たちは皆それぞれ、自分自身では選択できない環境でこの世の中に生まれてきます。持って生まれた環境を背負い人生を全うします。人格の土台は3歳までとも言われるほど幼少期から青少年、そして青年になるまでの時間は非常に大切なものだと感じます。特に、小学校、中学校までは義務教育であり集団の中で育ちます。どんな環境下を過ごしたかで社会に出た時にスタート地点は変わるんだと大人になって気付きました。また、学校では教えてもらえないことが社会に出るとものすごく多いことも感じました。

だからこそ、我々大人はこれからの未来ある子どもたちにどんな環境を与えられるのかが重要だと考えます。アメリカでは、子どもに10歳頃から金融教育を学ばせるのは当然という考えがあり、これが日本では貯金しろと教えられます。日本人の守る力も非常に大切ですが攻める力も生きていく上では必要であり、社会に出た時に経済的にも精神的にも自立した人財として活躍してほしいと願っております。

大人であり青年である我々が、今後の地域を担う青少年に向けて未来を選択できる学びやきっかけとなるような機会を提供するとともに、親である大人も共に育つことのできる機会を創出してまいります。

## 「地域ブランディングの促進」

### 地域ブランディング促進委員会

私たちの暮らすこのまちは、様々な魅力、地域資源に恵まれております。歴史や文化、晴天率も高く気候的にも住むには良い地域であり、この地域の自然も地域外からニーズがあります。しかし、観光面や移住者人口の面においても実感がないのが現状です。また、地域資源が恵まれているがゆえに明確なブランディング戦略が発信できないのだと感じます。

地域のブランディングがこのまちにどのような恩恵をもたらすのか、そのために何ができるのかをイメージしてみても難しい印象を持ちます。また、インターネットも普及し、観たい、聞きたいの情報がスマホ一つで満たされ、行ってみたいと思いアクションを起こすには難しい時代になったのかと感じます。まずは、地域のイメージ向上や経済活性化を目指すことの重要性を再認識するとともに、課題解決の方法を模索し、実行する機会を創出します。

さらに、この地域には上田青年会議所の先輩方が築いてきた“上田わっしょい”があります。本年は第53回を迎えます。半世紀以上も続けてこられたのは先輩方である時の青年たちの「市民総和楽」の思いが現代まで引き継がれているのだと感じます。時代が変わる中で地域のお祭り自体も変化はしていきますが、青年としての活動力を持って課題解決し、地域住民の皆様と共に一体となって体現してまいります。

## 「地域のリーダーとなれ」

### 人財資質向上委員会

青年会議所に入会すると、色んな世代の方々と交流させていただく機会があります。最初は何も分からずでも活動を通じてその方のキャラクターや所作、話し方など勉強になる機会が多くあります。また、事業を通じて会計面や広報等も経験を通じて学ぶことができます。また、ビジネス間だけではなく、社会での立場を関係なしに人として付き合えるのが魅力の一つだと感じます。そして、青年会議所で経験して学んだことを社会にどうアウトプットして行くかが一番大切だと考えます。

まずは、私たちは何のために青年会議所活動をしているのかを今一度再認識するとともに、よりインパクトのあるアウトプットを起こすことで一人一人の成長と発展の機会を創出してまいります。また、新しく迎え入れるメンバーにおいても在籍しているメンバーにとっても私たちが今までの活動の中でどのような事業を行ってきたのか知らないメンバーも多いと察します。青年会議所とはどういう団体なのか、活動意義は何なのかを波及してまいります。

一人一人が青年会議所活動を通じて、社会により良い変化をもたらす発展と成長の機会となるよう尽力いたします。

## 「全員拡大の実施 生涯の仲間づくり」

### 会員拡大連絡会議

私たちは例年、会員拡大委員会を立ち上げています。年の委員長が発起人となり、会員拡大を盛り上げます。メンバーの知り合いから促しますが、乏しいのが現状です。かといって、誰でも入れればいいのももなくある種のフィルターがかかっているのかもしれませんが。

良いところには人が集まります。私たちは、今後どのように会員拡大を行っていくのかをメンバー全員で考え、実行していく機会を創出します。また、課題について考え、誰かに責任を押し付けるのではなく、メンバー一人一人が拡大意識の必要性を理解し、団体としても広報やインパクトのある事業を通じて会員拡大につなげられるよう発信してまいります。

上田青年会議所の歴史を紡いでいけるよう、時代に対応し実践してまいります。

## 「組織運営の要」

### 事務局

私たち上田青年会議所では所属するメンバーがそれぞれ、地域の未来を考え、魅力を発信したり、地域の子どもたちへの事業を企画して実行したり、新しい仲間を集めるための活動を主にしております。活動費は所属しているメンバーからの年会費から賄われ、事業を行うために理事会議や各会議を行います。

各活動を行うためには、理事会議は必要不可欠でありその運営は事務局が行っております。また、渉外においてもその案内や設営においても担っており、まさしく組織を運営する上での要です。事務局の規律があるからこそ、組織がまとめられるのだと感じます。

現在はDX推進も進んでおり会議のオンライン化や資料の電子化も進んでいます。残すべきものは残し、不要なものは省いていくことでスマートな運営も意識し、負担を軽減するための方法を模索してまいります。

最後に、1945年、時の戦争で310万人の日本人の命が失われました。その当時の人口における平均年齢は19歳でありました。今日私たちの生活があるのは時の青年による新日本再建の賜物であり、先達に対する感謝の念は忘れてはなりません。現役である我々青年は与えられた今の環境で最善を尽くし、後世につなげてまいります。

DO YOUR BEST！～今を輝け～